



Petri Club

泉郷をさぐる……宇野木 敏 ペトリES 35について……山崎 功
季 題……写 楽 齋 解像力について……上野 正



10

ペトリカメラ

新東宝「女教師の記録」
より左幸子さん御愛用

季題 写楽齋

夏と対象される冬の被写体は、やはり先ず歳事記にあるように師走に入り、新年を迎え節分にいたるまでの景物と、それに冬季特有の気象の中にあらわれる自然と人々の生活の種々相などで、例年繰り返される行事や祭礼も、その観方やとらえ方で異色なものが生れるものである。

たとえば、近年ますます盛んになつたクリスマスにしても、ただサンタクロース、クリスマス・ツリー、クリスマス・プレゼントなどと、直接それにかかわりのあるものだけにとらわれず、それらを背景効果としてとりいれた悲喜交々の人間模様、具体的には男女の踊り狂うダンス・パーティーと花売娘、プレゼントをかかえた盛装婦人と野良犬、浮浪者と店頭のデコレーション・ケーキというような対象の面白さから、ミサに集る老若男女、家庭の晩餐、雪夜に光るイルミネーションの叙情など、題材は数限りない。そして、それと同時にくりひろげられる歳末風景は、また

その年々の流行や時事と織りなされて、街頭から住宅街、村落までも氾濫する。それらの中から特に二三を拾つてみると、年末大売出しの景品引換所、寒夜の松飾売、デパートのお年玉売場、餅つきと、数多い素材を提供されるようし、それらはまた年賀まで延長されて羽根つき、駒下駄、お面、双六遊びと、ほほえましい子供たちの正月風景としても家庭写真としても好材を得られよう。

その他、年賀風景としては、ユーモラスな賀状をすし詰めにした郵便屋さん、時代をおもわせるブロックコート、一家眷族の初詣という風に、季節をともなつた人々の動きの中にみられる題材はつきない。しかし、特に注意したいことは、年々歳々正月の行事は変りないようだが、店頭装飾、新聞売、駅頭のポスター、映画館にも、その折々の政治、経済、文化、社会の状態を映し出したものが見出されるので、カメラ・アイはそれらにいつも確かに、そして批判的に見開かれていなければならぬわけである。

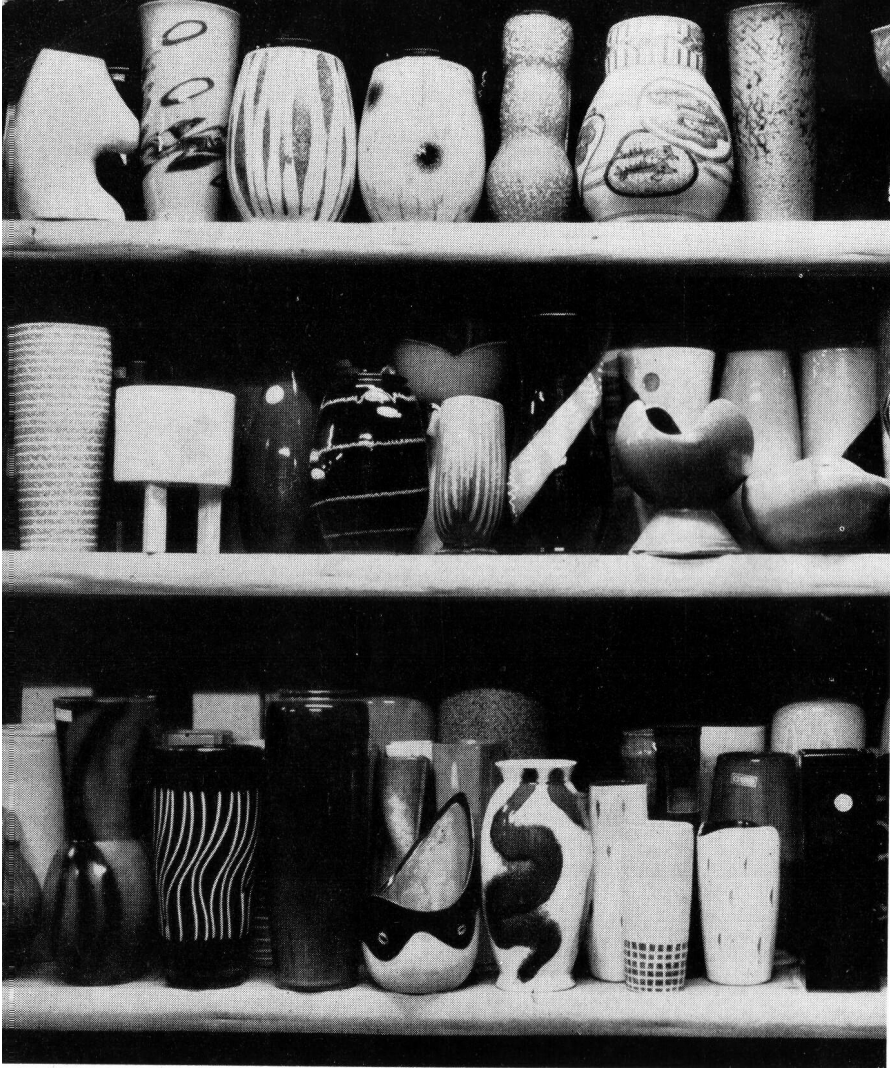
次に自然現象と、それにつらなるものとして、お決りの雪景やウィンター・スポーツがあるが、それらはいずれも余り多くの人々に写されていて、ねらいはいよいよむずかしく

単に眼でみたままの雪景の美しさや、スキー、スケートの素晴らしい動感だけにとらわれず、それらの被写体を単純化し、不要なものを省略した形の純粋な美しさや質量感をもとめて、アングルやトリミングを工夫し、そのために特に近接撮影をしたり、叶えられれば、微視・巨視の世界までも描き出すようにこころがけたい。撮影時の困難さや苦心は、時日をへだてればへだてるほど後日に鮮かな印象として残されるのではなからうか。

また、冬の生活詩風なローカル・カラーは天候、気象、風土、習俗とともに、特に厳寒期にいちじるしくあらわれるものなので、事情が許されれば、地方の山間僻地の取材も忘れられないものであろう。

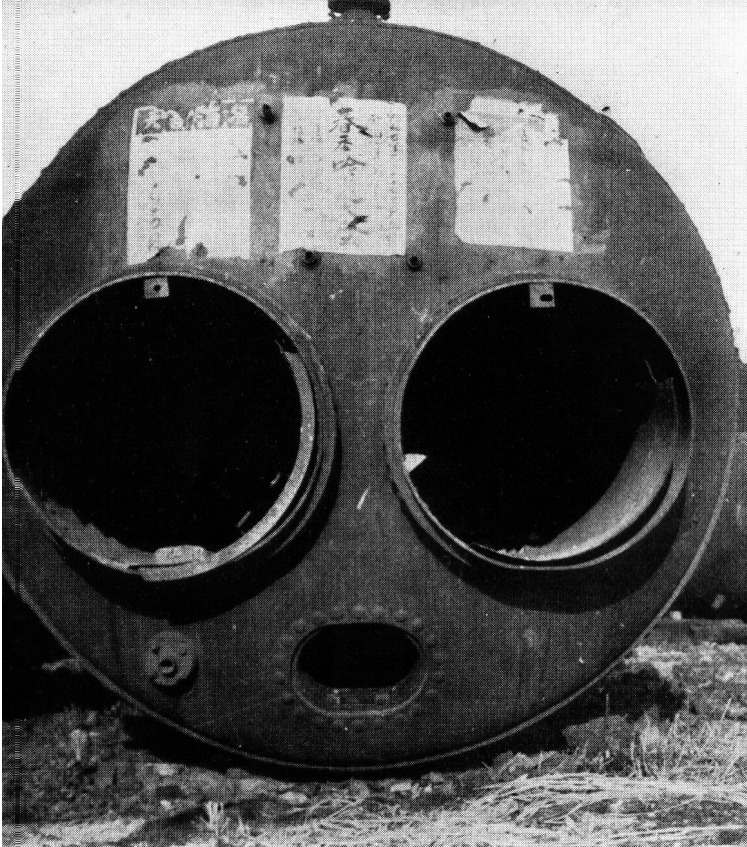
終りに、節分は民間伝承や習俗の好材で、しかも家庭的な行事なので、豆撒きの場合など、それをフラッシュ撮影で正確にとらえる反面、演技とみられない演出よろしく、自然光で雰囲気を出すところがけたい。

冬の被写体



花瓶 塚田恒由(横浜) ペトリ35

オリコール F3 5 45m/m 絞開放 1 25秒 コニパンS D-76 ペロナ F3 D-72



ペトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f11 1/50秒 ネオパンSS D-76 月光V3 D-72

ペトリRF オリコン75mm F3.5 絞f8 1/25秒 コニパンS D-76 深山FS3 D-72フィルターY2



特
選
欽
の
顔

海
老
沢
定
夫
(東京)

顔に見立てたボイラ
ー。いかにもユーモラ
スな顔の表情につな
がるものがある。かつて
至極身近にある物で
この種の作画が試みら
れたが、これはボイラ
ーそのものを戯画化し
た特異性がある。周囲
の夾雑物を整理するた
めのアングルも、トリ
ミングも意識的に行わ
れている。

第 9 回
ペトリ・サロン
PETPI SALON
入 選

一
席
堤
防
釣
田
義
一
(姫路)

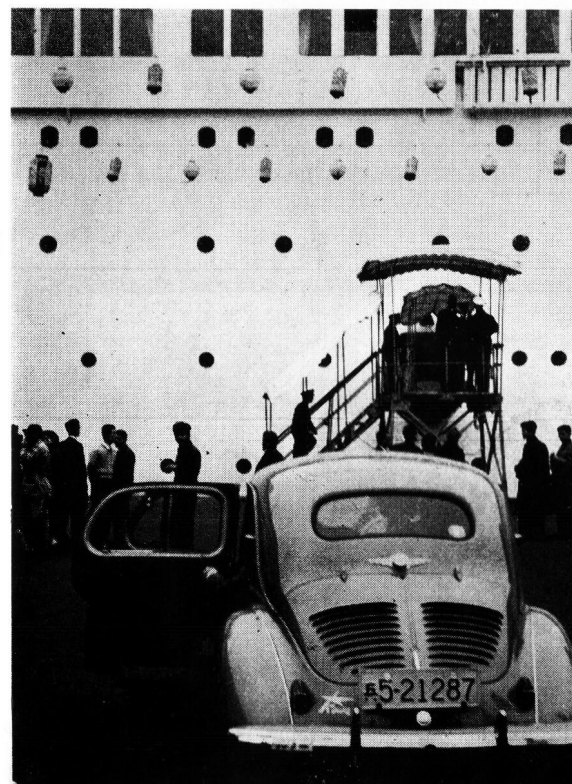
堤防を主題
にしたものは
多数作画され
ているが、こ
の場合堤防は
環境設定とし
て有効に用い
られ、主題は
女兒の心象を
示すことに置
かれている。
ひっそりした
岸辺で、ひと
りこころを奪
われている様
がよくうかが
われる。

女
特別会員 仲 井 淳 (神戸)



ペトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f11 1/100秒

コニパンUSS D-76 月光V3 コレクター



ペトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f11 1/100秒 ネオパンSS

D-76 月光R2 コレクター

巨
船
入
港
の
日
特別会員 山 良 昌 義 (神戸)



三席
修学旅行
藤井勝衛(新潟)

少年たちの面に異常な昂奮の色が見えることで、説明中の案内嬢の話の内容がうかがわれる。少年期の特徴をとらえた特質のある作といえよう。

RF オリコンF3.5 75mm 絞f8 1/50秒 ネオパンS MQ 月光3 MQ

5 オリコールF3.5 45mm 絞f8 1/100秒 ネオパンSS D-76 ペロナ3 D-72

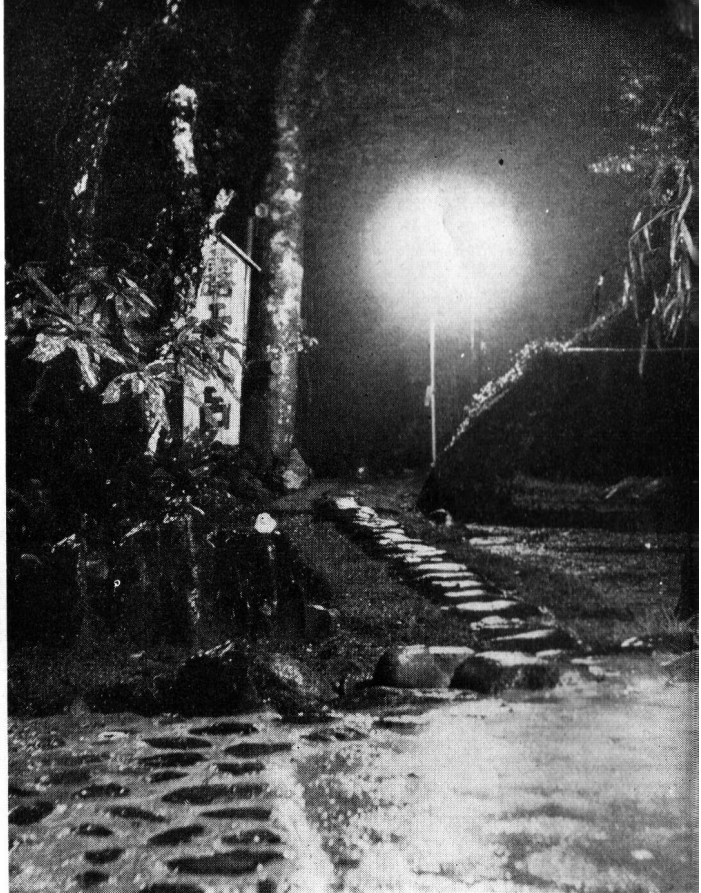


二席
まつ茸狩

千木良正夫(東京)

画面ににじみ出ている季感の深さ。秋の野宴をそのままに撮つたものでないだけに、ひそやかな気韻がただよっている。影の適当なとりいれ方で時刻と環境を暗示し、たしかな質感をもつた器物の自由な置き方にもところが配られていて愉しい。

二席
露天風呂
大内繁(東京)



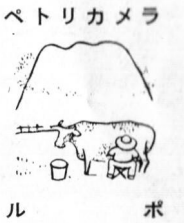
ベトリスーパー オリコールF3.5 75mm 絞f22 コニパンUSS D-76吉野8閃光粉0.5g使用

ベトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f8 1/100秒 ネオパンSS D-76 吉野8 D-72

三席
ベンチ
岡山政治(大阪)

女持、男持の傘が逆になつていてその陰で婦人たちは食事中である。デパートの屋上らしく、アイスクリームの殻が散らかり、小市民生活の一断面をみせている。白黒の傘の対比も効果をそえて





泉郷をさぐる

宇野木敏

浜田・有福温泉へ

豊作の東海道、錦繡の山陰路……。
 久々に東京をはなれ、昨夜島根の浜田市に
 着き、夜半まで旧知同好の人々と歓談した後
 の親近感や開放感、今朝になつてもまだこ
 ころよく胸底にただよつている。殊に昨夜の
 人たちは、朝日新聞の写真連盟支部として
 浜田写真クラブとしても有力な人々ばかりで
 中には、かつてフォト・タイムス（オリエン
 タル発行）の編集者で、私の満鉄弘報課在職
 中もつとも親交の深かつた写真作家故伊達良
 雄氏と写真で同窓だつたという高橋さん、以
 前の文学仲間で実家が浜田から程近い温泉津
 だつた友人の家況をよく知つていてくれてい
 てしかも彼と同姓の若林さん、飛行隊在隊中
 航空写真の同僚だつた鮎川さんなど、まつた
 く予想もしなかつたゆかりの不思議さと故旧
 へのおもいはつきない。
 カメラ・パスは、予定より少しおくれでこ

の街の市役所前を発車して、私のそうした懐
 旧のころや車窓をかすめる習俗・風色への
 興趣にかかわりなく、山峡を縫い黄ばんだ落
 葉樹とすれすれに駛りつづけ、小一時間ほど
 で泉郷有福温泉にたどりついた。温泉は、や
 はり地図で予想していたように、小高い丘陵
 に囲まれた盆地の底に寄り添つて、一劃の町
 を形造つていて、教寄をこらした教々の旅館
 が山の傾斜に沿つて重り合つている。

私たち一同は、同じようにカメラをぶらさ
 げ、同じようにそこいらに好材を物色するカ
 メラ・マン特有の眼をかがやかせながら、共
 同浴場の二階にみちびかれていった。そこは
 今日のカメラ教室に当てがわれていて、眺望
 もややひらけ、雑木のまだら紅葉が山頂まだ
 ひろがつて山膚全体を明るく染めなしていた

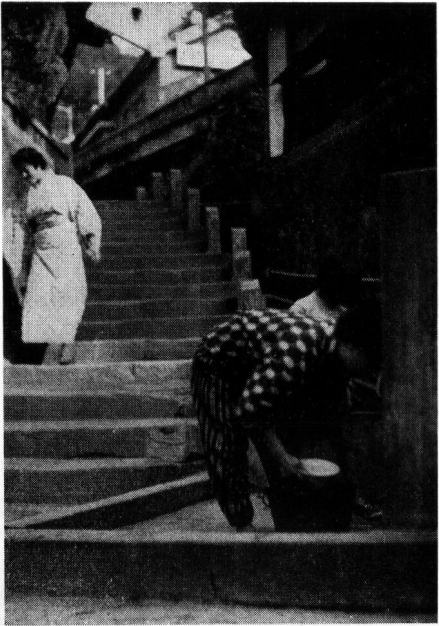
カメラ教室

「では、本日の講師をご紹介します……」

なようです」

私は、先ず自分について語るおろかさを心得
 顔でこういつてあたりを見廻した。誰一人
 として顔をほころばす者もない。いや、むしろ
 興味と緊張の眼眸が一斉に自分に向けられ
 ていて、一語も聞きもらすまいといった表情
 がみなぎつている。そして、その緊迫感が、
 かえつて私を平常の咄弁から救つてくれるも
 ののようだった。

「そう……業績、私にはそんな業績は何もあ
 りませんし、また将来私個人の業績として写
 真を考えていきたくないわけです。しかし、



夕影は次第に延びて

の所在を愉しく反芻しながら、だからこのよるの美しさを分ちあ
 い、この美しい交りをつづけていくためには
 自他共に向けられなければならぬ批判のき
 びしき、正しさが望まれるのではないかと、
 東京にいて自分の眼で見、自分の耳で聞いた
 写真壇、ジャーナリズムカメラ界などの実状に

ついで語をついでいった。

撮影会

旅館組合の協賛なので、大勢の参加者たちは
 は定められた各旅館に分散してモデル撮影に
 移つていく。私たちは最も高い場所にあると
 おもわれる一旅館に入つていった。そして、
 そこから泉郷の俯瞰の面白さにひかれてシャ
 ッターを切つたあとの私に、早大出身という
 人がこの地の神代神楽などの風習について手
 短かに語つてくれたが、民俗や伝承について
 ひそかに関心をもっている自分としては、一
 旅行者にすぎないことに恥じ入るばかりであ
 る。と同時に、この人の写真の愛し方の一面
 がのぞけていて快かつた。
 浴室はどこも清潔である。そして、その清
 潔さは、取りかこんでいる山相のあざやかさ
 からくるものともおもわれた。

「着物は脱いでくんざらんか？」

誰かが脱衣所に突立っているモデルの若い
 婦人に声をかける。

「いや、」

未婚らしいその人は、たちまち浴衣の袖を
 ひるがえし、くると後向きになつてほほえ
 む。そして、その冴えた声が急に生々と浴室



朝の泉郷

世話役の鮎川さんの声がひびいた。皆は威
 儀を正した。私は恐縮した。そして、びよこ
 んと頭を下げ、ぼそぼそと語り出した。

「私は、ただいまご紹介にあずかりましたよ
 うな評論家でもなければ作家でもありません
 また、現在はジャーナリストでもないわけ
 です。しかし、そのどちらかであることは確か

にこもり、緑に澄んだ浴槽に消えていく。私は着衣のままの彼女にポーズをつけてみた。すると、そのぎこちない素朴な仕種がえつて美しくおもわれて直ぐにカメラを構えた。他の人々もそれにならった。

軽い食事のあと、私たちはまた二三の旅館を廻り歩いた。どこも今日の撮影会に湧き返っているようである。ことに、共同浴場は大勢の参加者が三人の裸婦を取り組んでいて、かなり広い浴場を埋めていた。彼女たちは、俄か演出者に繰返し繰返しポーズをさせられやや疲れ気味のようなだが、肩筋から体をつたつて床にほとほとお湯の飛沫は、高窓からの射入光でハイライトに光りかがやいて美しくかった。私は人混みの中を彼女たちに近づくのが容易でなくやつと角度を定めかかると、こんどは飛び散る飛沫に幾度も後退しなければならなかった。

「はつはつはははは……」

彼女たちは急に笑いくずれた。そしてまたそこら中に湯水を跳ね飛ばせた。

「なあ、たのむけなあ……」

カメラ陣の哀訴、そして前進、また後退。

私はむしろそれがユーモアやウオットとして素材になるとおもい、またカメラ・アングルを決めようとしたが、撮影者を写角内にとり入れられる位置を見出せなかつた。そして、

間もなくそこを断念して外に出た。急に陽射がまぶしく少春日和に陶然とした浴客の姿が目立ち、泉郷の風情をそえている。私は、さつきの混雑の中で不安定な気分をはずめようと旅館から旅館へつらなつて流れている石段の傍に腰を下した。階段にそつて流れている排水のせせらぎが、岩清水の音のように聞えてきた。私はそつとカメラを開いた。すると、タスキのクローム・メッキが鋭く眼を射る。あたりを見廻すと、午後の陽射の中に参加者たちが方々に浴客や特徴のある泉郷風景をねらつて石段を駆け降り、一ぱい屋に飛び込み、その硝子戸をへだててみえる三層楼の旅館に眼を向けた。各階毎にみられる浴客とそれぞれの姿態や服装の変化が面白い照応をみせている。ファインダーをのぞくと三階は写角からはみ出していた。かまわずシャッターを切つた。満ち足りないものが後に残つた。そして、不図前方をみると、足の不自由な参加者の一人が、旅館のドアへ越しに上程で立話中の中老の婦人をめがけて生かそうとしていた旅館名を前景効果として生かそうとしていたのが直感された。しかし、それはスナップとしての條件に欠けるもののおもわれぬ。私は急いで彼に近づいた。電話の番号札が眼についた。突嗟に演出効果を考えた。番

号はこの町の数少ない数字を示して、しかも人々がすれちがう毎に左右に傾く可能性のあることがおもわれた。私は素早くそれを僅かにゆがめることで、そうしたことに無関心とおもわれる旅館や町の人々の生活や感情がとらえられるとおもつた。彼は私のゆがめた番号札をとり入れることに共感を覚えたよう即座にカメラを向けた。

他の参加者たちはとみると、或は屋根に、或は石だたみにうづくまつていて、カメラ教室で強調したカメラ・アングルへの関心のほどがみられた。私はバスの停留所、そそり立つた石垣、特徴のある人物などを追つて狭い町を駆けめぐつた。秋の陽射は次第に黄色をおび、凹地の歩道に建物の影がのびひろがってきた。そして、それらの影はこの町の特徴のある地形や時刻の推移を示して、それだけに、被写体をかえる毎に絞り、シャッター・スピード、距離、角度と、目まぐるしいカメラ操作をつづけなければならなかつた。

いよいよ撮影会も終つた。参加者たちは異口同音に今日の撮影量が意外に多かつたことを語り合い、カメラ・ファンだけが知るよるこびをたたえていた。

私は、日没に間近かな石だたみの影を踏みながら、温泉町の情趣に眼をやつていたが、やがて世話役の人々にうながされて、共同浴場の湯舟にはじめて体を浸した。弱アルカリ

性というその泉質はともかく、蛇口から流れ出る温い真清水に、ここ教日来の疲れも洗い流されるように、私はそのまましばらくじつと眼をつぶつていた。すると、はじめて山陰の山ふところにいだかれたこのいでゆに、束の間ながら世俗を遠く、人事を離れ、はからずも自分ひとりのふるさとかえり着いたおもいと、この温泉が千三百年の昔、印度から渡来した法道仙人にはじめて見出されたと伝えられているその渾々とした古事への詮索がましいところ向きを忘れた、自然への素朴な拝跪の念とが、ひそかにしのび寄つてくるのを覚えた。

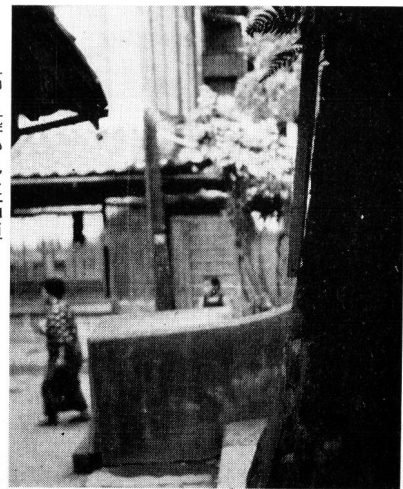
そして、その自分の心情が、ついでさつきまで追いつづけていた写真の生々しい現実性や造型性から一転して、人々の本能的な心象をまさぐる触手のように伸びひろがつていくのを不思議なおもいで見返していた。



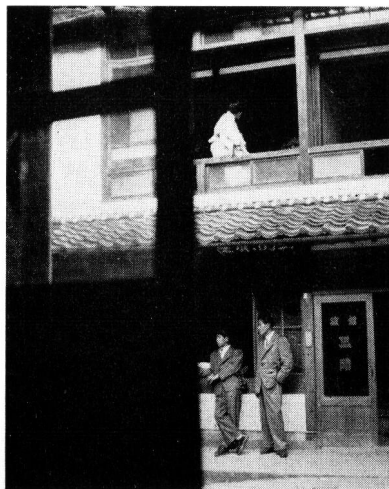
町角にて



バスの待合所



高く築かれた石垣



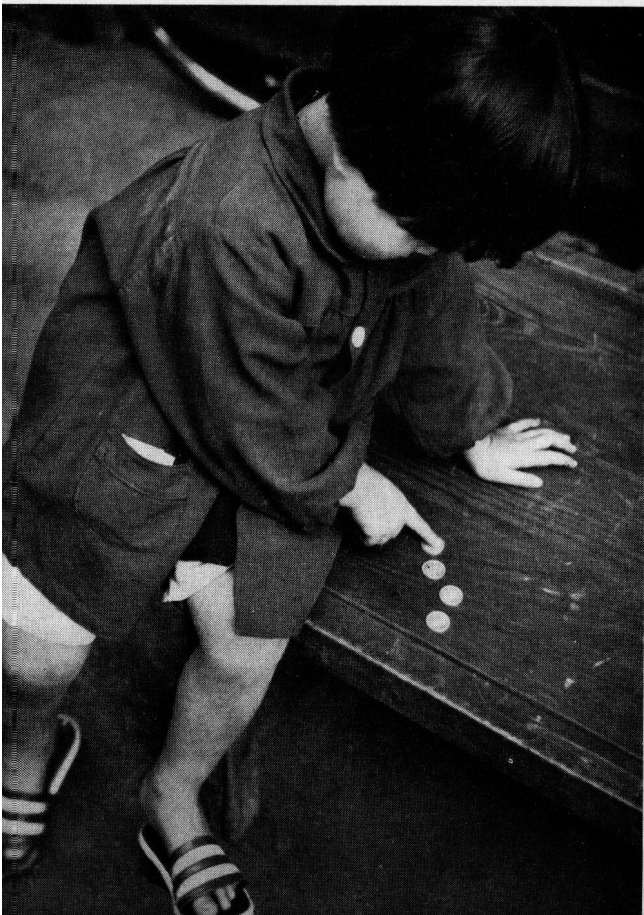
旅館と浴客



ベトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f11 1/200秒 ネオパンSS D-76 月光3 D-72

三席
パチンコの店
高野涉司(東京)

人為的につくられたものは、その作られたものへの感受性如何が素材の発見の緒口になり、それに観る者の共感を得てはじめて価値も定まるものといえよう。この場合はパチンコ屋には珍しい店頭だが、それぞれの枠に仕切られた特色のある様式を全体としてまとめあげた切り方の要を得ている。



三席
お金
佐々木利栄(東京)

ベトリRF オリコンF3.5 75mm 絞f8 1/50秒 ネオパンSS D-76 吉野3 D-72

幼児のもてあそんでいるのが、実は硬貨だということにこの作のポイントが置かれている。更にいえば、成人と子供の関心のちがいが象徴されていて、一層たしかな童心のありかがとらえられているといえよう。

二席
足跡
野口正吉(東京)

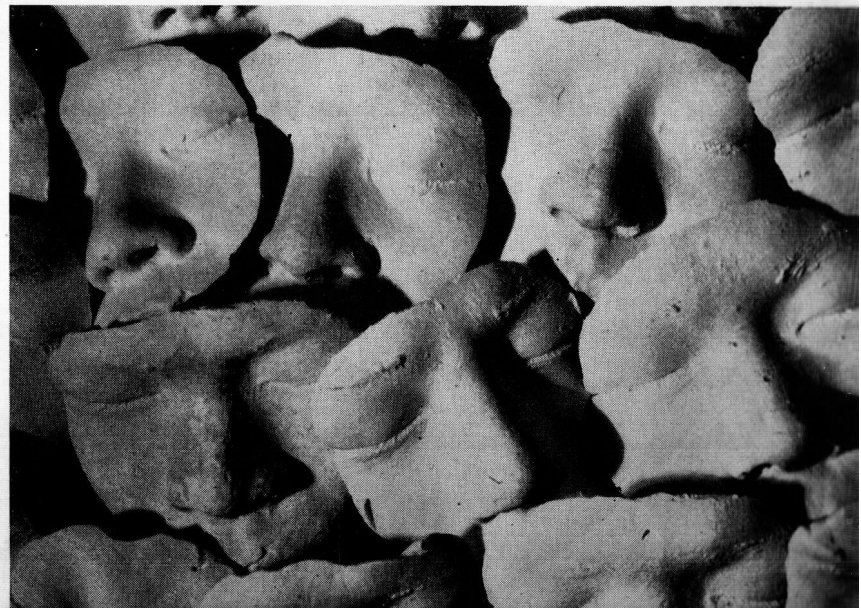
干潟の亀裂と動物の足跡とが、克明な質感描写をともないながらやや非対象化されて叙情詩が奏でられている。写真のリアリティーが極端に追求されていくと、このように却つて抽象化されるという適例だが、更にこれを押し進めて完全に様式化することも近代写真の一つの途であろう。



ベトリ35 オリコールF3.5 45mm 絞f4 1/25秒 コニパンUSS D-76 ベロナ3 D-72

デス・マスクをおもわせる異様な素材だが、それが数多く積み重ねられていることで大量生産の商品という別種な感情をさそう屈曲した内容を形造っている。

三席
マスク
中井茂雄(東京)



ペトリE・S35に関する 使用報告と意見

山崎 功

一、投光距離の伸縮を、ブラケットによる摺動方式にしたのは賢明だと思う。本機の場合パンタグラフでなくても不便を感じない。垂直光軸はより正確に維持され、大倍率引伸でランプハウスを反対側に廻す際など非常に扱い易い。

二、ランプハウスの外観は小型でスマートだが、特殊設計で放熱効率も良い。四〇Wの特殊電球が光源なので、過熱はあまり長時間に耐えない限り御心配は要らない。光源とコンデンサーとの間隔は簡単に調節出来るので、光源ムラの事故は手軽に防止出来る。

三、焦点調節のヘリコイド微動方式は、蛇腹方式に較べて、はるかに精密である。操作する時、精密機械を扱う様な安定感と信頼感が指先に起る程である。これは引伸用レンズの性能を一層高めるであろう。

四、新設計のEオリコールは、国産の引伸用レンズの中で、群を抜いて鮮鋭だと思はれる。私が大型機に使って居る某レンズは、所謂一級品と称されて居る様だが、これと同一

ネガで比較試験した結果、肉眼でも認められる程、オリコールの方が鋭く、収差が無い。これでは異論の余地が無さそうだ。元来オリコールは切れ込みが鋭すぎて、カメラに使用すると、柔かい写真を作りたい場合など困惑する位であるが、引伸に使用した場合は却って工合よい。

五、ネガ挟みの受け台が、ネチ一つで、縦位置にも横位置にも、自由に角度が変えられるトリミングの際、非常に好都合である。

六、スライド兼用を考慮した白色塗装の金属製台板は、光源ムラの監視、ネガ位置の決定にも利用価値が大きい。金属製の重量は、ランプハウスがどの位置にあつても安定で、木製台板の他の引伸機とは比較にならないバランスを保っている。

七、スライド用としては、本機は引伸機の兼用の為、スライド専用機の基準で性能を判断する訳には行かない、と思う。私は他に、スライド映写機を一台持つている。それでもペトリE Sを使つてカラー写真を楽しむことが仲々多い。この事実は、本機の性能を或程度無言の裡に証明して居るものと考ええる。

八、製作者の良心が感じられる様な、気の利いた中間スキッチ、小型の為、狭い暗室でも

扱い易い点、その他、使用している中に後から後からと長所や利点が出て来る引伸機であるが、多少の不満も無い訳では無い。私だけの不満かも知れないが、安全光フィルターが取付けてなかつたり、金層製ネガ挟みが使えないのは一寸不都合だ。また地方の方は、電球のスペアを一個ぐらい用意して置かないと特殊電球なので、何時でも、何所でも入手出来るかどうか、少し気になる。

しかし、そうした不満はあるにしても、ペトリE Sへの綜合点は、相当高く与えられて良いと思う。製作者の意欲に対して敬意をおくるのに躊躇しない。

(終)



解像力について

雑誌等で良く解像力と云う言葉や文字を見受けるが解像力とは一体どんな事を云い、又どんな風にして測定するかを説明したいと思えます。

定義 非常に近接して居る物体の像を識別することの出来る能力を通常、解像力と云う。

測定法 測定法には色々あり、それぞれ長所短所を持ち例えれば……

①テストチャート写真用レンズによりスクリーン上に拡大投影する方法

②写真レンズによるテストチャートの空申線を顕微鏡により測定する方法。

(これは相方共レンズ単体の解像力を知ることが出来るがボデーに組合された場合フィルムのカリーング並にプレッシャプレート裏下面の平行度等に左右されて完成されたカメラ内のフィルムに必ずその解像力がキヤッチされるものとは限らない)

以上は乳剤(フィルム)現像装束等の影響の加わらない測定法によるもので其の解像力の値は撮影状態により自から異なる。

③茲では実際の使用状態に最も近いチャート撮影法について述べる。全整色感光材料(フィルム)を用い絞りを全開として撮影した時

の解像力は次の規定に合格しなければならぬ。

種別	位 置	
	中心	その他
フナシチグメント	1000/α	500/α
そ の 他	700/α	350/α

以上の写真機の高画面上法の対角線の長さを(αmm)とする

④(1)写真機をチャートに正対し、かつチャートの中心が画面の中心へ結像する様に配置する。

(2)チャートと撮影レンズとの距離は五米以下の任意の一点とする。

(3)焦点合せは距離目盛によつて焦点調節を行う、距離目盛により焦点調節装置と連動する距離計を持つ写真機では距離計によりまた焦点ガラスによつて焦点調節を行う写真機では焦点ガラスによつて行う、尚距離目盛は感光材料の乳剤面を基準とする事を原則とする。

(4)チャートの照明は正午に近い直射日光又は之に近似した光質の光により各図標の白地の部分が等しい明るさとなる様にして行う事。

⑤解像力は原板を1.0倍以上に拡大視して図標線の太い側から逐次覆つて二線の判別限界

点を両側の目盛(N)によつて読み取り間隔標距離(S)の原板上の距離(P)を測定し次の式から算出する。但し各所に於て差がある場合には小さい方の値を取る。

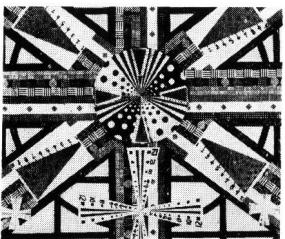
$$R = \frac{S}{N \cdot P}$$

以上の測定方法により検出された解像力の値を通常解像力と云われて居る。

株式会社 栗林写真機械製作所

検査部長 上野 正

解像力については一寸専門的になり難い点もあるかと思はれますが簡切の関係で解約出来ませんが次回には図解入りにて容易に説明いたし度く存じます



第 9 回
PETRI SALON
ペトリ・サロン

佳 作

道 標 原 茂 治(東京) ペトリRF



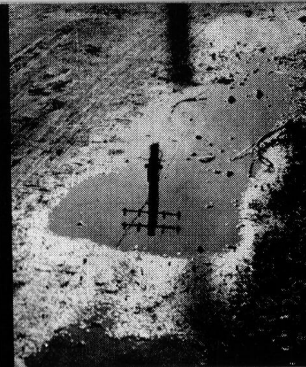
秋の高原のハイク。秋爽の気が満ちている特徴のある道標だが、人物の姿態や表情に主体をおき、高原の背景効果で生かしたかった

梯 子 山川徳次郎(群馬) ペトリRF



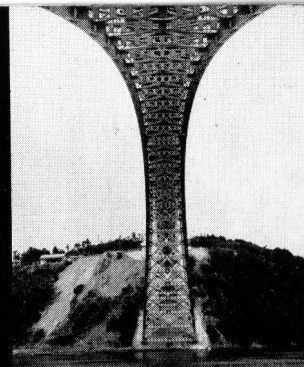
梯子のシルエットと電線や硝子による構成着想に新味はあるが、シルエットの処理が充分でないために主題を散漫にした。

雨 上り 長谷見義和(東京) ペトリ35



水溜りの素材としての面白さが目立つ。単調の難を防ぎ、主題を強調するために人物をとり入れることも一つの工夫ではなかろうか

橋 前田 管夫(長崎) ペトリRF



巨大な鉄骨の空間構成、遠近感の強調は見られるが、中央から弧状に二分したのと、対岸を見せたことで純構成から反れてしまった

僕は海軍大将 大津宏七郎(長崎) スーパーV型



七五三の復古調。手をつないだ和服に亘袋も利いている。



ペトリRF120
新製品
近日発売!

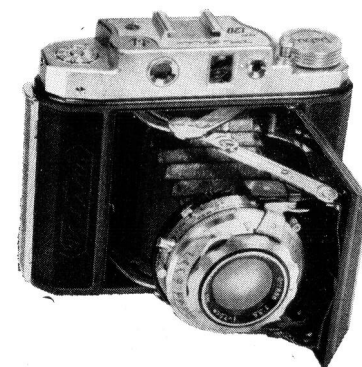
一九五五年を振り返って弊社製造のペトリ三五も皆々様から絶大な御支援と御好評を戴きながら御愛用載いで参りましたがペトリRFも終戦以来改良に改良を加え日一日と進歩の道を辿つて参りましたが今回更に画期的な改良を加え新に一九五六年にペトリ三五と並び新型カメラ(ペトリRF120)として新春に御目見得する運びになりました。

三五%ブームと併行して斬新なスマーポート、携帯の便利なセミ版スプリングカメラも一九五六年のホープとして皆様の御愛用を載くものと信じて居ります。

ペトリRF120は
連動距離計にて 前玉部ヘリコイド式を
採用し

レンズ オリコールI:3.5 F=70mm
シャッター カーペル B1~1/3000秒

セルフタイマー
近代カメラの必須条件たる全シャッタースピードにフルシンクロするM・X・Sシンクロ接点を装着いたして居ります。
定価(ケース・専用レリーズ付
一三・五〇〇円)



交番わきにて 和田 光義(東京) ペトリRF



取調べられている配達人の表情や所作と、子供の中景人物がよくとらえられている。窓をいえば今少し俯角をつけたかった。

老夫婦 嘉藤 悦司(東京) ペトリ35



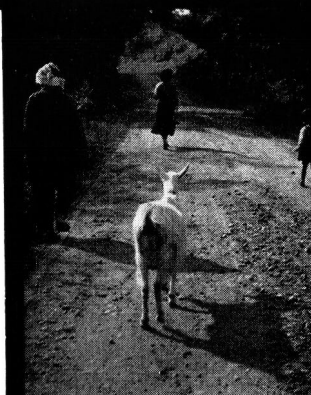
ほほえましい老夫妻。表情はよくとらえられているが背景効果にもつと注意したい。

迎 夏 佐藤 兼志(仙台) ペトリ35



シックの清純な効果はあるが、ポーズと表特色が足りない。自由なポーズをスナップしたい。

田舎道 山中 素縁子(千葉) ペトリRF



路上スナップの面白さが眼をひく。カメラを今少し左に、山羊にも確りしたピントがのぞましい。

肩車の子 平山広枝(熊本) スーパーV型



関心事の二面を同時にとらえたもの。ノー・フィルターで速写すれば幼児がもつと生かされたかも知れない。

子 供 五十嵐秀男(千葉) ペトリ35



人物を前と後向きに、しかも鉄棒の上に一配置したことに注目される。右二人の動き強調したら対象的なよさが加えられよう

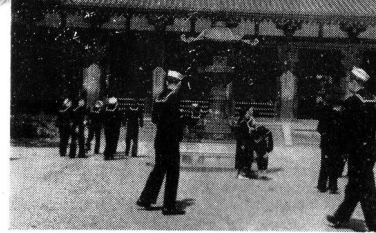


ボートの上縁と頭がすれすれになつたのでカメラ・アングルの特色がやや失われた。それも上部を詰めれば多少救われよう。

つり 吉崎信雄(神奈川) ペトリRF



画調のコントラストに特色があり、静謐な水面と釣心魚心がおもわれる。これを釣舟だけに極限すれば一層その感が深められよう。



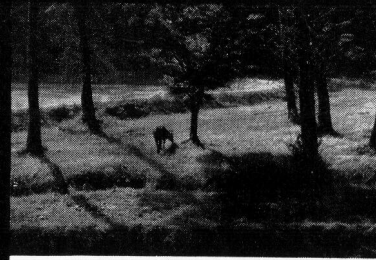
寺のスケッチ 五十嵐直栄(大阪) ペトリRF

伽藍を向うにどちらもセーラー服であるのに興味がある。水兵の興味のある姿態を前景効果としてとり入れたかつた。



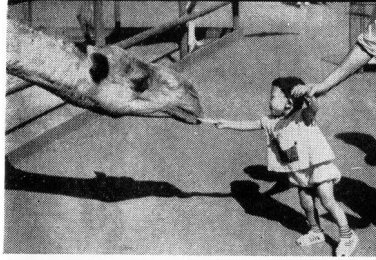
奈良の印象 石井 将博(東京) ペトリ35

古都奈良というより観光地奈良の性格がスナップされている。前方の老僧を主題に扱うことも一法といえよう。



静 鈴木 泰造(福島) ペトリフレックス

山間の静謐。作者の眼はただそれだけに止って純朴である。形式上の近代性はここからはじまるといえよう。

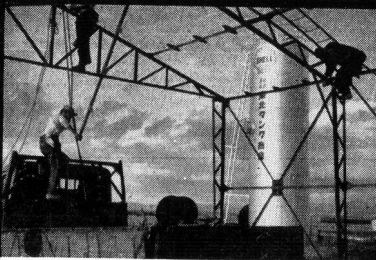


ラクダと子供 吉 田 章(横浜) ペトリRF

恐いものみたさの子供。劇的なラクダの顔が利いている。

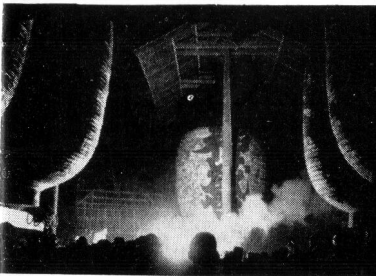


子供動態 伊藤 陽一(親子) ペトリ35



作業 時田 俊吉(青森) ペトリ35

小規模ながら建設作業の情景がよくあらわされている。下部を切り空間に力点をおきたかつた。



祭の夜 阿知和鉄次(岡崎) ペトリ35

神燈の大提灯が夜空を大きく占めていて、かがり火らしい自然の照明が祭例の雰囲気增添了。特徴のある人物が欲しかつた。

ペトリ ニュース 「女教師」に協賛

新東宝映画 中川信夫監督「女教師の記録」は、十二月初旬東京で一斉に封切られるが、K・K 栗林写真機械製作所では、これが製作上映に協賛、左幸子好演の数シーンにもペトリ・カメラが散見されるので全国のペトリ・ファンを喜ばせるものと噂されている。

相づくペトリカメラの好評

国産優秀カメラ展の反響

近來とみに輸出産業として躍進をつづけているカメラ工業十六社では、去る十月二日から一週間、東京新宿伊勢丹で国産優秀カメラ展が開催されたが、K・K 栗林写真機械製作所では新鋭ペトリカメラ、ペトリE・S 35を出品、その廉価と高精能とで人気を集めた。

35mm用フィルター発売

K・K 栗林写真機械製作所では、このたびペトリ三十五専用のフィルター・セットが発売された。価フィルター・セット九〇〇円ゲース付

第十回ペトリ・サロン 作品募集

規定

資格 ペトリカメラ・クラブの会員

サイズ キヤビネ及八ツ切判

締切 一月二十五日(締切後の到着は

隔月募集ですから次回分として受け付けます)

審査 田辺良雄、宇野木敏、後藤種吉

(イロハ順)

賞 特選一名 賞金貳千円及記念品

一席一名 賞金壹千円及記念品

二席三名 賞金五百円及記念品

三席五名 賞金参百円及記念品

佳作廿名 記念品

発表 「ペトリ」第十一号

送先 東京都千代田区神田錦町三ノ十

六ペトリカメラ・サービステーション内ペトリクラブ宛

編集後記

いよいよ歳末に入り、例年のことながらまた懐かしい気分をそえられる。そのそられた気分が写材にもなる。やはりカメラ・ファンの冥利はつきない。

ペトリ・サロンもすでに九回を重ね、会員も千名近くの多数に達した。全国でも有数の団体といえよう。作品の進境を期待するのでもまた切。「素材と表現」は前号で一応打切り稿を新にすることとなった。応募作品は八ツ切以下につき念のため。(S)

ペトリクラブ

第10号 昭和三十年十二月十八日 印刷
昭和三十年十二月二十日 発行 (非売品)

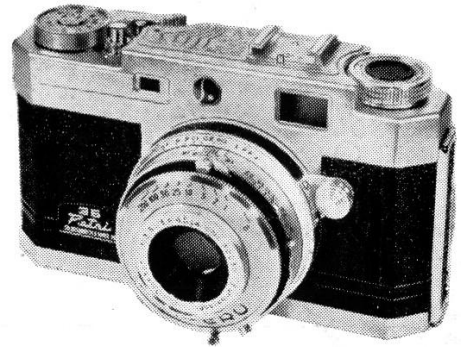
編集人 宇野木 敏
発行人 栗林 庸夫

印刷所 株式会社 光 社
東京都千代田区神田保町一ノ四六

発行所 ペトリ・カメラ・サービステーション内ペトリカメラクラブ
東京都千代田区神田錦町三ノ一六
電話(29)四六二四・六三六八番

PETRI

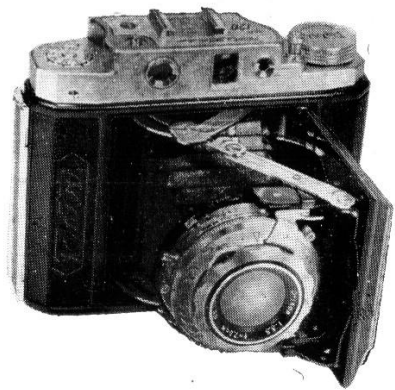
camera



ペトリ35

レンズ 新設計オリコール 1:3.5
F=45mm
シャッター カーペルB. 1秒~1/200秒
セルフタイマー
シンクロ 内蔵

¥14,000.00



ペトリRF120

連動距離計

レンズ オリコール1:3.5F=70mm
シャッター カーペルB. 1秒—1/300秒
セルフタイマー

M. X. S シンクロ接点装着
¥13,500.00

